

ほっとCommunication

2019年1月発行
第81号

発行 後援会
印南 宏
発行責任者 印南 宏

昨年、平成最後の師走に国内外で驚くべき出来事が多く起こりました。日産自動車、中国の科学者が「ゲノム編集」の技術で受精卵の遺伝子を改変、中国通信機大手ファーウェイ幹部の力ナダでの逮捕、米中間の対立激

新年あけましておめでとうございます。
平成から新たな元号へと変わる輝かしい初春を迎え、お喜びを申し上げます。
また、日頃からの温かいご支援・ご協力に心から感謝を申し上げます。



化の様相等、世界は再び「二つの陣営」に分かれつつあるようです。
国政では重要法案である「水道法」と「出入国管理法」の改正が国会で十分な審議が行われないまま、次から次へと「強行採決」されました。私のような地方議員の目から見ても、随分と乱暴な法案審議で、国の重要法案が決められていくことに、大いなる不安を感じています。
国で決定したことは、すぐに地方に転嫁されてきます。国も地方も一心同体な関係であることは言うまでもありません。水道の「民営化」も、私たちのライフラインである水道を、大手外資系企業に水道事業を任せてしまつて本当に大丈夫なのか。「民営化」を容易にするためと意気込んでいる内閣府の民営化推進部署に世界有数の水道サービス企業の関係者が働いていることが判明。出入国管理法の改正案も、それを歓迎するはずの経済界から制度の根幹にかかわる部分について、議論が足りないことに懸念の声が上がっています。審議をしていた大島理森衆院

議長が法案の衆院通過の際、異例の「裁定」を出すなど、昨今の国会、政権発足六年目の安倍内閣は長期政権の弊害が出ているのか、暴走しているようにも感じられます。与党、野党の問題ではなく、国会の存在意義が求められる二〇一九年を迎えています。
昨年の我孫子市は少子・高齢化、人口減少が進む中、財政の硬直化を示す「経常収支比率」が九十五%を超えるなど、財政的な課題がクロージアアップされました。そんな中でも、生活に必要な老朽化が進む現在の焼却炉を建て替える新クリーンセンターの建て替え事業（総事業費百四十億円超）に着手、その他、待機児童ゼロを継続するため新たな「認定こども園」の充実・子ども達の受け皿づくり、手賀沼観光施設の誘導施策の展開、空き家バンクの創設など、持続可能なまちづくりに向けて諸施策を展開しました。
迎えた二〇一九年は私にとって大きな節目の年となります。一月の我孫子市長選挙、四月の千葉県議会選挙、七月には私が応援して

いる「石上としお」候補が立候補予定の参議院選挙、十一月は我孫子市議会議員選挙が予定されています。新たな元号へと続く二〇一九年は、次の時代に繋ぐ多くの難題に果敢に挑戦する一年となります。
私は今年も現場主義を第一に、市政を担う議員の一員として市議会の先頭に立ち、持続可能なまちづくりに全力で取り組んでいく覚悟です。引き続きのご指導とご支援をお願い申し上げます。

『政治に無関心でも生きていくことはできるが、政治に無関係では、けして生きていくことはできない』

印南 宏 現在の主な役職

我孫子市議会 環境都市常任委員会 副委員長
議会改革特別委員会 代表
会派「あひこ未来」議員の会 副会長
連合千葉 千葉議員団会議 前幹事長
電機連合 電機連合議員団会議 ブロック幹事
その他
我孫子市サッカー協会 顧問
我孫子市ソフトボール協会 顧問 など

◆十二月定例市議会◆

十二月 三日(月) 十八日間
十二月二十日(木)

市長選挙前の十二月議会、主な議案は、我孫子市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定や市の一般職の職員給与に関する条例(人事院勧告)の改正、常勤特別職(市長、副市長、教育長、水道管理者)の給与改正条例、指定管理者の指定(我孫子市民プラザ・我孫子駅前インフォメーションセンター・老人福祉センターつじ庄)、平成三十年度一般会計補正予算(三億五千六百万円を追加、補正後、一般会計予算は三百九十三億七千五百万円)、補正予算の主な内容は台風二十四号の被災農業者向け支援事業、生活保護扶助費(単身世帯が増による入院医療費の増加など)、改元に対応するための事務費など、議案十九件が可決・承認された。

請願の審査では継続審査となっていた「請願第十三号学校給食無償化を求める請願」は、共産党議員から賛成の討論が行われたが、本会議では賛成八、反対十四で「否決」となった。

議案では「第三号常勤特別職給与条例改正」について、本会議で二名の反対討論が行われた後、総務企画常任委員会では賛

成少数で「否決」であったが、本会議では常任委員会の結果が反転し、賛成十四、反対九で「多数可決」となった。

十二月定例市議会は申し合わせにより、個人質問のみが行われた。三日間の日程で十四名の議員が登壇。私が代表を務める会派「あびこ未来」は四名中三名の議員が登壇した。



駅頭行動を行う宏

12月定例市議会 印南宏の個人質問

■総務・企画行政

- 1) 地方公務員法及び地方自治法の改正
- 2) 障害者任免状況(障害者雇用の水増し問題)

■教育行政

- 1) 旧井上家の保存と活用
(全面公開まで必要な整備金額)

*** 詳細は議会だより、
市議会 HP の録画等、
いつでもみることができます ***

<http://www.discussvision.net/abikosi/2.html>



宏はこう考える

「我孫子新田 農産物直売所の跡地は民間活用へ！」

我孫子新田(手賀沼沿い、柏側)で以前行われていた農産物直売所(約四百㎡)跡地は、現在「サウンディング調査※」という手法で民間事業者からの事業提案を受け付けています。このとりまとめを今年度中に行い、ふさわしい提案であると選定されたならば、来年度には、その事業者である民間事業者と市は契約を結び、新たな観光・商業施設として整備していく予定です。

この我孫子新田エリアは、「手賀沼観光施設誘導方針」という計画に位置付けられた地区で、民間活力による手賀沼を活かした観光事業の展開が図られています。現在は新たな喫茶店などの計画も進んでいます。今後の我孫子の活性化のカギを握る重要な事業と私は考えています。私の所属している環境都市常任委員会で積極的な提言を行っていきます。事業の行方を市民の皆様もご注目をお願いします。

※サウンディング調査とは、民間の土地活用案などを広く募集し、事業者を選定、事業を公民連携で行って行く手法。

「会計年度任用職員制度」の導入について

地方自治体は、人口減少・高齢化の進行、行政需要の多様な社会情勢の変化に適切に行政対応をしていくため、本来は任期の定めのない常勤職員・正規職員を中心に公務を運営することを原則としてきましたが、「最小のコストで最も効果的な行政サービスの提供を行う」ために、臨時職員や嘱託職員といわれる非常勤・非正規職員を多く活用するなど、任用・勤務形態が多様化する結果を招いてまいりました。

その結果、非正規職員の総数があまりにも大きくなり過ぎて、公務員法という、守秘義務などの制約を課することができない非常勤職員の存在、労働者性の高い非常勤職員に期末手当が支給できないなど処遇上の問題も多く指摘されるようになりました。そこで登場したのが、地方公務員法及び地方自治法の一部改正による「会計年度任用職員」という新たな採用類型の創設です。この形に全国の自治体で統一することになりました。総務省の調査によると、平成二十八年で六十四万人までになった非正規公務員の処遇を改善し、同一労働同一賃金の原則に基づ

き正規・非正規職員間の格差を是正していくことが主な目的とされています。

特に、我孫子市は過去の新聞報道でも取り上げられたように、職員の非正規率が高い自治体として市と区の分野で全国五位に位置付けられ、多くの非正規職員のみなさんの力によって行政が執行されています。平成三十九年四月現在でも正規職員八五一名に対し、臨時・非常勤職員が九二四名、この人数は平成二十九年度から三十九年度にかけて、臨時職員を保育園の民営化や学童保育の公共サービス民営化制度の導入等で大きく減らした百七十四人減を含めた人数です。それでも、全体の五十二・一%、市職員の半分以上の非正規職員によって我孫子市の仕事が行われています。

この「会計年度任用職員制度」を二〇二〇年四月施行に向けて、我孫子市として如何にソフトウェア・ハードウェアを正しく、非正規の職員と市が一丸となって、新たな働き方改革の制度として導入していかなければなりません。この改正によって、住民サービスの低下を招くことは絶対に許されない。大きな人事制度の改正であると理解しています。

♪お答えします♪ ●部活動のガイドラインを 我孫子市でも作ってほしい

宏・小中学校教職員の残業時間の多さなど、学校現場での働き方が大きな問題になっています。教育の質向上を目指す意味でも、教職員の業務改革は喫緊の課題です。我孫子市では、平成三十九年二月に届いた文部科学事務次官通知に基づいて、「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プラン」を二〇一八年度に策定することになっています。

策定にあたっては、設置要綱に基づき、「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進委員会」を開き、国や県等の通知を参考に我孫子市の実情を踏まえた協議を行い、実効性のあるプランにしていこうと予定しています。プランは大きく四本の柱で検討を行っていきこうとされています。

- 一・学校職員の意識改革
- 二・業務の改善と削減
- 三・学校を支える人員体制の整備
- 四・部活動の負担軽減

働き方改革推進委員会の委員は、保護者代表、社会教育に携わる方及び多様な役職の学校関係職員の計十五名で構成されています。設置期間は昨年七月か

らプラン策定終了予定の二〇一九年二月です。
部活動ガイドラインの策定はその委員会が中心に作成しています。近々、発表されることになっています。



お知らせいたします *議会報告会の開催！

我孫子市議会は平成二十六年に議会基本条例を制定。私は議会改革特別委員会の副委員長を務め、基本条例の制定に直接携わりました。条例では毎年、「議会報告会」を開催すること、を義務化、今日まで市内各地の近隣センターで「議会報告会」を開催してきました。

第四回目の今年は市議会の本会議場を使い、議会報告会を開くことに決定。私たち議員がいつも座る席を市民の皆様が座っていただき、私たち発表を行う側の議員は普段、市長や市職員の方々が座る席で議会報告を行い、質疑を受ける形で報告会を行います。是非、議場の雰囲気を感じていただきたいと思います。下記の日程で行いますので皆様、奮ってのご参加をお願いいたします。

印南宏は、第25回参議院選挙立候補予定の

「石上としお」さんの活動を応援しています。

第4回我孫子市議会 議会報告会

- 開催日: 2月3日(日)午前10時から
- 場所: 我孫子市議会本会議場 (市役所の隣)
- テーマ: 12月議会の報告、他 奮ってのご参加をお待ちしております!



石上としおさんの政策を応援しよう!

全力で聴く。全力で届ける。全力で挑む。

産 業: 電機産業の力で魅力あふれる未来をつくります。

職 場: 誰もがイキイキと働ける職場をつくります。

暮らし: 将来にわたって安心して暮らせる社会をつくります。

石上としお.com 検索

石上としお toshio.ishigami



石上としおさん(左)と握手する宏

我孫子雑感

◆人口減少社会を救う切り札のような触れ込みで政府は入管法の改正案の国会審議を行い、強行採決した。十分な検討が行われない状態で、外国から来る方々の人権は本当に守られるのか。一昨年、日本にきている約七千人の外国人技能実習生が失踪した。失踪者の人数は年々増えていく。なぜ、失踪するのか。失踪者約二九〇〇人の聴取票が国に存在し、安倍政権は失踪理由の八十七%が「より高い賃金を求めて」と説明していた。この聴取票が条件付きで開示され、プライバシーの理由でコピー厳禁、閲覧は法務委員会の国会議員しか閲覧させないとの国の強い姿勢。仕方なく国会議員が聴取票を書き写す作業を実施、その結果を分析すると、最低賃金以下で働かされていた外国人実習生は千九百人、何と六十七%もの方々が最低賃金以下であった。その他、技能実習生で死亡したリストでは平成二十七年(二十九年の三年間で六十九名)の方がお亡くなりになり、そのほとんどが二十代、三十代の若者ばかりで十人は溺死、五人は自殺していた。失踪理由は最低賃

金以下の収入しかなく、生活できない。「より高い賃金を求めて」は全くの虚偽であったことが判明。少子化で人手不足になることは以前からわかっていたこと、不足分は外国人をあてがえば良いという考えは、間違っている。自分たちの子供が、慣れない外国でそのような環境に置かれて良いわけがない。社会の根底を支える場所で働く人がしっかりと生活できる仕組みを作っていく必要がある。

◆我孫子市にゆかりのある偉人で「日本五輪の父」と呼ばれる人間がいる。その人の名は「嘉納治五郎」(一八六〇〜一九三八年)である。嘉納治五郎は講道館柔道の創始者で、現在の日本オリンピック委員会(JOC)につながる大日本体育協会を創立した人物である。我孫子には一九一一年に手賀沼の近くに別荘を設け、農園で農作物を作っていた。その後は甥の柳宗悦を呼び寄せ、手賀沼のほとりが白樺派の拠点となっていた。嘉納治五郎の先見的教育思想や功績について、今年の二月、三月にアビイホールで連続講座「嘉納治五郎から学ぶ」が開催される。講座は嘉納治五郎記念国際スポーツ研究・交流センターが主催。我孫子市教育委員会

が共催する。初回の二月十六日は講道館の村田部長が「自他共栄」などの行動哲学について説明。二十三日はJOC理事で筑波大の山口香教授が女子柔道の普及にも尽くした功績を紹介する。楽しみな講座である。各回午後二時から。先着百五十名、要予約である。

◆今年、我孫子市は選挙の年を迎える。平成三十一年一月二十日(日)は我孫子市長選挙の投票日(日)は我孫子市長選挙の投票日。開票日、四月は千葉県議会議員選挙、七月は参議院選挙、十一月は我孫子市議会議員選挙が予定されている。今年から我孫子駅北側地区の投票区の再編と期日前投票所の開設が決定した。改定の理由は投票区一か所当たりの不均衡を是正し、スムーズな投票を行うためである。人口が増加している地区でもあり、期日前投票も、イトーヨーカ堂我孫子店内の「あびこ市民プラザ」に、投票日の前日と前々日の二日間新たに設置する。市長選挙の投票率は、平成十九年が四十四%、平成二十二年が四十五%、平成二十七年が三十二%であり、特に直近の市長選挙は十人の有権者の内、三人の投票によって市長が決まっている。それで良いのか。今年の市長選挙では十八歳からの有権者の投票も含ま

れるが、平成二十七年の市長選挙では二十歳〜二十四歳までの投票率十六%、二十五歳〜二十九歳まで、十五%であった。若い方々が投票に行きたいと感じられるような、未来の我孫子を占う、輝かせるような市長選挙にしなければならない。

宏



防災訓練に参加する宏

印南 宏 後援会

〒270-1108

我孫子市布佐平和台 7-1-18

TEL : 7189-1598

E-MAIL : hiroinabiko@kca.biglobe.ne.jp

ブログ : http://hiroshi4649.at.webry.info/

HP

http://www7b.biglobe.ne.jp/~innami-hiroshi/

